

日曜随想



皆さんは日曜日をどのように過ごしていますか？ 今は新型コロナウイルス禍で外出しにくいですが、それ以前はショッピングへ出掛ける方も多かったのではないのでしょうか？ 日本の日曜はにぎやかな場所がわいわい楽しむイメージがあります。ところが私の母の国、ドイツでは少し違つ日曜日の風景が広がっています。大きな違いはお店の営業が禁止されていること。日曜日は街の繁華街やデパートは全部閉まり、シーンとしています。じゃあみんな何してるの？

美術館は開いているので人気スポットです。天気の良い日はカフェのテラス席でゆったりと流れる時間を楽しみます。店の営業時間の制限が厳しいため、「ドイツは不便」と駐在する日本人に言われたことがありません。確かに日本にはどこでも24時間営業のコンビニがあり、それに慣れている人から見たらそうかもしれません。でも週に一日、お店が全部閉まって

門倉多仁亜



心と体を休める日曜日

のことがスムーズに動く国はありません。そのこと自体は誇りに思いませんし、素晴らしい。でもその利便性を可能にしているのは、働いている国民。私たちがです。仕事で間違つてはならない、お客さまに喜んでもらいた

日として大切にしてみました。自由経済の国では店の営業は企業や個人が決めることですが、ドイツでは全てを自由にすれば社会的弱者が不利になるという考えです。日曜日や祝日は休みたいけれども、生活を考えると働かざるを得ないという人が出てくる。それはフェアではない。日曜日はみんなが休む権利がある、というわけです。ただし、生活に欠かせないものを提供する店は開いていいます。例えばパン屋と花屋。友達を招いて食べる日曜日の朝食に焼き立てパンは欠かせません。部屋で楽しむコーヒータイムには花が彩りを添えてくれます。今年2月、メルケル首相は3回目のロックダウン延長を発

いるという環境はなかなか心地よいものなんです。便利な日本では週末も効率を求めて動いてしまいます。忘れていた振り込みをコンビニで済ませて、食材を買い出し、美容院に行つて、などやって

わり、休日忙しい日となつてしまいます。対してドイツの日曜日は、どこも開いてないから用事を済ませることはできません。だから「今日は休み」と割り切ることで、心も体もリフレッシュできるのです。

世界中で日本ほど便利で、もヨーロッパでは日曜日は教会

自由経済の国では店の営業は企業や個人が決めることですが、ドイツでは全てを自由にすれば社会的弱者が不利になるという考えです。日曜日や祝日は休みたいけれども、生活を考えると働かざるを得ないという人が出てくる。それはフェアではない。日曜日はみんなが休む権利がある、というわけです。ただし、生活に欠かせないものを提供する店は開いてい

表。同時に店の営業制限を徐々に緩和すると告げました。その際、最初に開店してよいとされたのは花屋と本屋でした。人間にとつて何が一番大切なのか教えられたような気がしました。一生懸命に働くのも必要ですが、心と体を休ませることも大切です。今日の日曜日、ベランダに座ってなんにもしないので、シートン降る雨を眺めながら過すことと思います。

かどくら・たにあ氏 料理研究家。兵庫県生まれ。父は日本人、母はドイツ人。英国滞在中に料理製菓学校ル・コルドン・ブルーで学ぶ。食だけでなくドイツ生活の経験を踏まえたシンフルライフを発信している。鹿屋市在住。